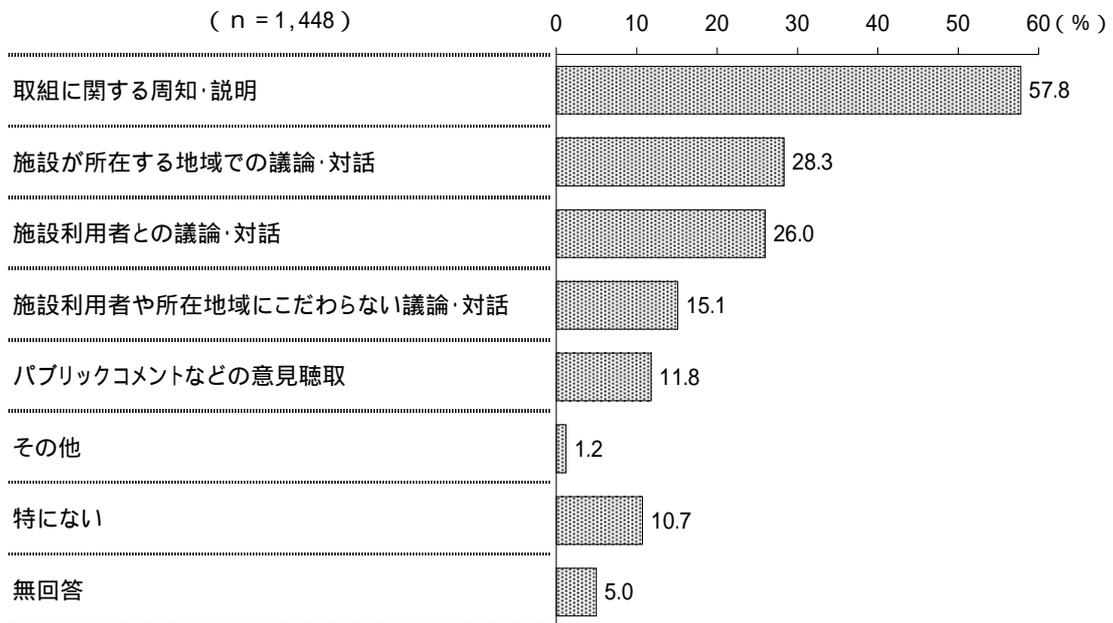


## (5) 市民理解を得るために重要な取組

問34 公共施設マネジメントの取組を進める上で、市民理解を得るために、あなたは、どのような取組が特に重要だと思いますか。( は2つまで)



公共施設マネジメントの取組を進める上で、市民理解を得るためにどのような取組が重要かたずねたところ、「取組に関する周知・説明」(57.8%)が6割近くで最も高く、次いで、「施設が所在する地域での議論・対話」(28.3%)、「施設利用者との議論・対話」(26.0%)、「施設利用者や所在地域にこだわらない議論・対話」(15.1%)、「パブリックコメントなどの意見聴取」(11.8%)と続いている。

< 性別・性 / 年齢別・区別結果 >

性別でみると、「施設利用者や所在地域にこだわらない議論・対話」で6.8ポイント、「パブリックコメントなどの意見聴取」で4.4ポイント、それぞれ男性が女性より高くなっている。

性 / 年齢別でみると、「取組に関する周知・説明」は男性50～59歳で7割を超えて高くなっている。「施設利用者との議論・対話」は男性30～39歳で4割近くと高くなっている。

区別でみると、「施設が所在する地域での議論・対話」は緑区で3割を超えて高くなっている。

